指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	施設所管課	市民部　文化振興課

施　設　名	スカイプラザ浜大津
指定管理者	株式会社 コンベンションリンケージ
指定期間	令和7年4月1日　～　令和12年3月31日
指定管理料	年額17，800，000円 （令和7年度）　（総額89，000，000円）
設置目的	市民が「交流の場＝スカイプラザ」を活用することで、広く「ひとの交流」「文化の交流」「地域の交流」をすすめる。
業務内容	(1)ひとの交流、世代の交流：親子が楽しめるワークショップ (2)文化の交流：多様なジャンルの文化活動をサポートする事業、スカイカルチャー講座 (3)地域の交流：湖都文化再発見やエリアの活性化。浜大津からの情報発信

所管課総合評価	Ⅰ～Ⅳによる総合評価	総合評価コメント
	B（良好）	工夫された自主事業を展開されているとともに、利用形態の変化（少人数での利用の増加、県外利用者の増加）にも柔軟に対応いただいた管理運営をされている。 事業の実施に当たっては計画的に取り組んで頂くとともに、「文学のまち」に関連した事業や伝統芸能会館との2館コラボの事業にも積極的に取り組んで頂きたい。

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅰ実施体制	**施設の設置目的の達成** □ 施設の設置目的を十分に理解し、それを踏まえ管理運営に努めていたか。	条例、仕様書、事業計画書、事業報告書	B（良好）	設置目的を把握し、管理運営に努めた。	B（良好）	施設の設置目的を理解して管理運営を行っている。
	職員の勤務実績・配置状況・労働条件 □ 事業計画書に沿った職員を配置していたか。 □ 必要な資格、経験を有する職員を確保していたか。 □ 出勤状況、勤務形態等、労働条件が適正であったか。 □ 障害者の雇用促進に努めていたか。	仕様書、事業計画書、日報、勤務表、資格証、実地調査、労働条件モニタリング	B（良好）	職員配置および勤務状況は適正に努めた。	B（良好）	事業計画書に沿って、必要な経験を有する職員を適切に配置した。
	職員の研修 □ 事業計画書に基づき、業務に必要な研修、教育が実施できたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、研修資料等	B（良好）	必要な運営、習得を日常業務内で研修として実施した。	B（良好）	社外研修も実施しスキルの向上に努めている。
	法令等遵守 □ 関係法令、条例等を遵守していたか。	仕様書、関係法令等、実地調査	B（良好）	関係法令、条例等を遵守した。	B（良好）	関係法令、条例等を遵守している。
	個人情報保護・情報公開 □ 個人情報・情報公開の取り扱いについて、協定書に基づき適切に行っていたか。	仕様書、協定書、管理方法（実地調査）	B（良好）	協定書に基づき適切に取り扱っている。	B（良好）	協定書・事業計画書に基づき適切に行っている。
	管理記録 □ 業務日誌等を適切に整備、保管していたか。 □ 点検結果や修繕履歴等を適切に記録・保管していたか。	日報、点検結果等関係書類、実地調査	B（良好）	適切に整備し、記録保管を行っている。	B（良好）	業務日誌、点検結果等は適切に記録、保管している。
	連絡体制 □ 市と指定管理者間で十分に連絡、調整を行っていたか。 □ 事業計画書、月報、事業報告書、その他報告書等の提出や内容が適正であったか。	仕様書、事業計画書、事業報告書等関係書類	B（良好）	連絡、調整を適切に行い、必要な報告書を提出した。	B（良好）	連絡・調整を適切に行い、報告についても適正に行った。
	緊急時対応 □ 事故・災害等の緊急時の連絡体制が確保されていたか。 □ 緊急時のマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行うなど、職員への指導徹底を図っていたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、緊急時対応マニュアル	B（良好）	緊急時連絡体制を整備し連絡、報告を速やかに実施。	B（良好）	各部屋に緊急時対応カードを設置するなど利用者の安全向上に努めている。
	《Ⅰ総　括》　業務の実施体制に関する評価【標準8項目／当施設8項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

	評価項目及び評価の視点	確認資料	自己評価	自己評価事由	所管課評価	所管課評価事由
Ⅱ内容・水準	**施設管理** □ 開館日、開館時間を遵守していたか。 □ 事故防止及び安全確保のために必要な対策を講じていたか。	条例、規則、仕様書、事業計画書、日報	B（良好）	開館日、開館時間を遵守し事故防止、安全管理に努めた。	B（良好）	開館日、開館時間を遵守している。
	利用状況 □ 利用者数、稼働率等が前年度実績や目標と比較し適正な水準であったか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	利用者数は前年比108%、施設稼働率は95%。	B（良好）	利用形態の変化にも対応しながら貸館を行い、稼働率の向上に努めている。
	利用者対応 □ 利用許可や案内等、職員の応対は迅速かつ適切に行ったか。 □ 服装、言葉遣い、接客態度等の接遇は適切であったか。 □ 利用者に対して設備、備品等を適切に提供したか。	業務マニュアル、意見・苦情等受付簿、アンケート、実地調査	B（良好）	適切な接遇・接客を行っている。	B（良好）	利用者への対応について接客や備品の貸し出しなど、適切に行っている。
	業務運営（全体） □ 事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用促進に向け、積極的に取り組んでいるか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	施設利用者は微増だが、稼働率が前年比95%	B（良好）	事業を計画通り実施するとともに、常に参加者が楽しめる企画を計画実施している。
	自主事業運営 □ 自主事業計画書に則し、事業を計画どおり実施したか。 □ 利用者の満足度を高める工夫がされたか。 □ 事業の実施により市民サービスの向上に効果があったか □ 施設の設置目的に沿った自主事業を実施したか。	仕様書、自主事業計画書、自主事業報告書、実地調査	B（良好）	8月と12月でワークショップ実施。ジャズフェスとの交流事業を実施するなど、サービスの向上を図った。	B（良好）	やり方を工夫しながら事業を実施している。
	維持管理 □ 施設、設備の保守管理(点検・修繕)を計画的に実施したか。 □ 修繕が必要な箇所について、適切に対応したか。 □ 日常の清掃、保安、警備は適切に実施しているか。 □ 備品台帳に基づき備品を管理、修繕したか。 □ 植栽、樹木等の維持管理を定期的に実施し、美観が保たれていたか。	仕様書、備品台帳、点検結果、委託契約書、実地調査	B（良好）	日常の保守、清掃、警備および定期点検は適切に実施。備品の修繕管理に留意。	B（良好）	施設、設備の保守管理、修繕等は適切に実施した。
	情報提供 □ 施設案内、事業の開催案内等のパンフレット類を整備し、情報発信に努めていたか。 □ ホームページ等の管理及び更新は適切に行っているか。	パンフレット・ホームページ等、実地調査	B（良好）	事業や催事案内、ホームページの管理更新を適切に実施。	B（良好）	適切な情報提供に努めた。
	環境配慮 □ 省資源、省エネルギー等環境への配慮、リサイクル等の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	光熱費節減、紙ごみの削減に努めた。	B（良好）	省資源、省エネルギーに努めた。
	ユニバーサルデザイン等への配慮 □ ユニバーサルデザイン、バリアフリーへの配慮、障害者に対しての合理的配慮の推進等に努めていたか。	関係書類、実地調査	B（良好）	障害者に対して合理的配慮に努めている。	B（良好）	研修等を適切に実施し、合理的配慮に努めている。
	意見・要望・苦情 □ 意見・要望・苦情等を把握する仕組みを確立しているか。 □ 要望・苦情等の対応に迅速かつ適切に対応し、可能なものは管理運営に反映していたか。	事業計画書、事業報告書、日報、アンケート	B（良好）	毎日のチェックシートのほか利用者、来場者の要望や意見の把握に努めた。	B（良好）	日常の利用者対応の中で意見、要望の把握に努め、可能なものは管理運営に反映した。
	利用者アンケート □ 利用者アンケート調査等を実施するなど、利用者ニーズを積極的に把握し、その結果を管理運営に反映していたか。	事業計画書、アンケート、実地調査	B（良好）	利用後のチェックシートで要望や苦情を把握し、今後の運営に生かした。	B（良好）	利用者対応の中で、意見、要望の把握に努めた。
	《Ⅱ総　括》　業務の内容・水準に関する評価 【標準11項目／当施設11項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅲ収支等	**経理事務** □ 専用口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行ったか。 □ 経理区分を設け、指定管理料を適正に執行していたか。 □ 料金徴収、減免、還付の手続きは適切に処理していたか。	預金通帳、出納帳、利用申請書・減免申請書等、実地調査（金庫等）	B（良好）	入出金管理、現金管理は毎日2回確認し適切に処理している。	B（良好）	適切に経理事務を行っている。
	収支状況 □ 予算と決算に大幅な相違がなく、収入―支出はプラスとなっているか。 □ 収支状況が対前年度比及び当初の目標を達成しているか。	事業計画書、事業報告書	B（良好）	予算と決算に大幅な差異はなく、目標に対して概ね良好な収支状況であった。	B（良好）	妥当な水準である。
	経費節減の取組 □ 経費削減に向けた取り組みを積極的に実施し、その効果が上がったか。 □ 清掃、警備、保守点検、修繕等の第三者への委託が適切な水準、内容で実施されたか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、委託契約書、実地調査	B（良好）	経費削減、省エネなど委託業者に協力依頼。	B（良好）	適切に実施している。
	《Ⅲ総　括》　経費の収支等に関する評価 【標準3項目／当施設3項目】		B（良好）		B（良好）	
Ⅳその他（独自の取組等）	**その他** □ 努力事項として掲げた市民や文化団体等との連携を推進したか。	仕様書、事業計画書、事業報告書、実地調査	B（良好）	ジャズフェスとの連携事業を実施するなど、文化団体との取り組みを推進した。	B（良好）	引き続き自主事業の中で、市民や文化団体等との連携を実施されたい。
	《Ⅳ総　括》　その他に関する評価 【当施設1項目】		B（良好）		B（良好）	

指定管理導入施設実績評価シート（令和7年度）

主な成果（全体）

使用料（利用料）	目標	11,000,000 円	⇒	実績	10,467,230 円
稼働率	目標	75 %	⇒	実績	74 % （年スタジオ68 % 練習室80 %）
利用者数	目標	70,000 人	⇒	実績	73,828 人

【指定管理者コメント】

・多彩な内容による自主事業に取り組むことができ、参加者にも喜んでもらえる事業となった。一部の自主事業については来期に実施する。
・伝統芸能会館との2館コラボの催しや、浜大津エリアの活性化を図る企画にも今後取り組んでいきたい。

【施設所管課コメント】

自主事業の企画内容は体験できる取り組みが多く、面白い内容である。今後も利用者の声を聞きながら事業に取り組んで頂きたい。また、事業の実施については計画的に進めるとともに、2館連携の取組も企画し、事業を進めて頂きたい。

自主事業実施による成果

＜主な自主事業の実施状況＞

事業名	指定自主事業・自主事業の別	事業内容	実施状況（実施・追加・未実施）	特記事項（「未実施」の場合はその理由）
[子どもアート★リズムでキラキラ冒険」ステージショー「星つりじいさん」	自主事業	7月に「星つりじいさん」の舞台アートを制作するワークショップ。8月にステージショーを実施、リズム体操マジックを交えた親子参加の自主事業。	実施	ステージショーと連動したアートワークショップは好評で親子で楽しめる企画で夏休み企画。
「もあもあアート展」と子どもワークショップ	自主事業	11月～12月交流コーナーで「もあもあアート展」作品を展示。12月にクラフトアート「飛び出す絵本」制作のワークショップを実施。親子で楽しめる企画。	実施	クラフトアート制作とリトミックやリズム体操での親子交流イベント。
スカイカルチャー	自主事業	通年で「スカイカルチャー」を実施。前期で6講座、後期で4講座を実施。新たに「刺しゅう教室」と「60才からのピアノ講座」は体験講座で新規募集。	実施	今後は参加者の習熟によって、講座分けするなど工夫しながら取り組みたい。
湖都文化謎解きスタンプラリー	自主事業	文化施設や地域の歴史資産を活用した地域交流の謎解きラリー。親子で楽しめて湖都文化を再発見するイベント。	未実施	ARと謎解きを組み合わせた内容を検討している。
撮り鉄プラザ	自主事業	浜大津からの情報発信企画。トークイベントやフォトコンテストを通じて大津の魅力発信。	未実施	京阪電車サポートや出演者の調整している。

【指定管理者コメント】

・「文化祭発表」や「撮り鉄プラザ」などより良い事業となるよう検討を進めながら、来期に実施を計画している。
・伝統芸能会館との2館コラボの催しや、浜大津エリアの活性化を図る企画も検討を進めたい。

【施設所管課コメント】

より良い事業となるよう関係者等と調整しながら、計画的な事業実施に努めて頂きたい。

課題及び課題解決の結果

【指定管理者コメント】

・「文化の交流」や「地域の交流」の自主事業を進める。
・湖都文化再発見や「文学のまち」の取り組みや伝芸との2館連携の企画を進める。

【施設所管課コメント】

本市が「文学のまち」として取組みを進めていることから、自主事業においても関連した事業を実施して頂きたい。

特記事項等

※評価基準：項目別評価、《総括》、総合評価の評価基準（A～D）は、モニタリングチェックシートと同様とする。

※評価手順

